

# フェアトレード大学 北星と札幌学院を認定

全国計3校

日本フェアトレード・フォーラム(東京)は3日、持続可能な生産と消費を目指す「フェアトレード」を大学全体で推進する「フェアトレード大学」に、北星

学園大(札幌)と札幌学院大(江別)を認定することを決めた。国内では昨年の静岡文化芸術大(浜松市)に次ぐ動き。今年6月には札幌市が国内5都市目の「フェア

トレードタウン」に認定されており、道内での取り組みの加速が期待される。

フェアトレードは、途上国の生産者を守るため公正な取引をしようという考え。生産現場の環境破壊や、児童労働、低賃金労働などの人権問題が起きないように配慮する。

北星大、札幌学院大はともに授業やサークルなどを通じてフェアトレードに関する教育や調査、普及活動を実施。コーヒーやチョコレート、工芸品などフェア

トレード商品も学内で購入できる。普及を目指す学生団体があることや独自の憲章策定など、フェアトレード大学認定の五つの基準を満たしたと判断された。10月に札幌で両大学への認定証授与式が行われる。

北星大のサークル「北星フェアトレード」前代表で憲章を起草した猪部なつみさん(22)は「活動が認められてすごくうれしい」と喜び、札幌学院大経営学部の橋長真紀子教授は「社会に貢献する姿勢を示すことができる」と意義を語った。

同フォーラムはこのほか、三重県いなべ市を国内6都市目のフェアトレードタウンに認定することも決めた。(関口裕士)